



創業は昭和48年。当時勤めていた会社を退職、自宅納屋で下水道ポンプ制御装置の修理を始めたのが小松電機産業の原点だった。54年、上下水道設備の制御装置開発に乗り出したのをきっかけに、上下水道事業に本格参入する。

平成15年、NTTドコ



モと業務連携。これにより事業戦略は大きな転換点を迎えた。制御装置とドコモ通信網を融合させた独自の監視技術を開発し、一気に業績を伸ばした。全国納入実績は約2000件（平成18年度末現在）、年商は30億円以上になる。

「おもしろ、おかしく、たのしく、ゆかいに」がモットー。「これからは『技術馬鹿』ではなく、『技術馬鹿』ではなく、いわゆる『文シニア』が

閉塞感を打破し、未来を拓く時代」と将来を展望する。「主体性があればどんな仕事でも面白くなる」と説く。

小松電機産業社長 小松 昭夫氏

## 本質に迫るひらめきが

えから、日本神話のルーツである出雲国にちなんで名付けられた。

「本質に迫るひらめき」と具現化のための論理的仮説」をもつくりの基本に据える。「製品開発で大事なのが、『哲学と理念』。それがあるからこそ物事の本質が見え、他社が気づかないことに気づくことができる」と力を込める。

【略歴】昭和38年島根県立松江工業高校機械科を卒業。昭和48年小松産業（現小松電機産業）設立。平成6年人間自然科学研究所設立。現在中国山東省にある孔子文化大学客員教授も務める。昭和19年4月2日生まれの63歳。

「やくも水神」シリーズは、「水は生命・人類を支えるベース」という考

63歳。